

資料 3

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2015～2020) 令和2年度分実績一覧

基本目標1 支えあい、助けあいが広がるまちづくり

◎誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らすために、人と人とのつながりを再構築し、支えあい、助けあうまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 隣近所で気軽に助けあえる関係をつくりましょう										
	見守り訪問による高齢者の実態把握	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	8,310件	7,991件	7,309件		
	地域福祉コーディネーター育成事業	福祉課題の解決に導く「つなぎ役」として、地域福祉の知識・技術・能力を備えた「地域福祉コーディネーター」を育成する。	福祉総務課	受講者数(累計)	継続	169人	182人	200人	令和2年度はオンラインによる研修を実施	
	地域活動補助金【地域福祉・地域計画策定】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	9件	11件	8件		
	にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金	地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進するため、地域が抱える福祉課題や住民課題の解決に向けた先導的な活動を行う団体などに対して助成を行う。	健康福祉課	件数	終了				2017年度で事業終了	
	ごみ出し支援事業支援金	高齢者・障がい者等のごみ出しが困難な世帯に対して、ごみ出し支援を行う団体へ支援を行う。	廃棄物対策課	件数	継続	16,571件	17,187件	18,035件	登録団体数・利用件数ともに伸びている。R2年度の新規登録団体数19団体のうち東区が7団体(36.8%)となっており、東区管内では制度の周知が図られているが、潜在的な利用者の掘り起こしのため今後も制度の周知に努めていく。	
	歩道除雪奨励金交付制度	市管理道路の歩道除雪において、市民団体が自主的に実施する歩道除雪に対し奨励金を交付する。	建設課	回数	継続	14回	0回	124回		
	小地域福祉活動(支会活動)の推進	東区社会福祉協議会支会による小地域での福祉活動の充実を図るため、支会活動助成を行う。	区社協	実施団体数	継続	12地区	12地区	11地区	コロナ禍で支会事業開催を見送った地区があり、11地区の助成となった。	
	地区単位での地域福祉懇談会の開催	各地区ごとに懇談会を開催し、地域福祉活動計画の地区目標の推進を図る。	区社協	実施回数	継続・充実	11地区	9地区	12地区	全地区で会議を実施し、地区の課題・施策を検討した。	
	「ご近所だんぎ」の開催	地域で支えあうまちづくりについて考える機会として、地域課題をテーマに学習会を実施する。	公民館	受講者数(累計)	継続	延べ398人	延べ286人	延べ326人	感染症の影響で参加者同士の意見交換ができなくなっている。	
	まごころヘルプ事業	住み慣れた地域で安心して暮ら続けるために、住民、団体が会員となり、有償で助け合う地域住民参加型の在宅福祉サービス(助け合い活動)を実施する。	区社協	登録者数	継続	利用会員 173人 提供会員 79人 賛助会員 14人	利用会員 165人 提供会員 70人 賛助会員 13人	利用会員 149人 提供会員 61人 賛助会員 6人		
	地域福祉推進フォーラムの開催	「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(愛称:東区地域ふれあいプラン)」の推進のため、東区地域福祉推進フォーラムを開催する。	区社協	参加者数	休止	第9回「みんなでつくろう地域の宝～支え合いのしくみをつくる～」参加者 121人	第10回 認知症「予防」の今とこれから～やってみようコグニサイズ!参加者 129人	開催なし	次期東区地域ふれあいプラン策定を重点的に行うため開催しなかった。	
	CSWによる生活課題への相談支援	個別課題から地域課題へつなげ、地域住民とともに、生活課題の解決を図る。	区社協		継続	障がいのある一人暮らし世帯に対する相談支援等	地域から孤立した単身高齢世帯に対する相談支援等	ごみ屋敷状態の独居男性世帯に対する相談支援等	地域から孤立した多問題世帯に対する相談が増えている。本人からの相談ではなく、近隣住民や専門職からの相談ケースが多い。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2) 地域活動・ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みをつくりましょう										
	コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域コミュニティ活動の担い手のスキルアップや新たな人材の発掘・育成を目的としたまちづくり講座を開催する。	地域課 公民館	受講者数（累計）	終了					
	学校支援ボランティア	学校の教育活動について、地域の教育力を生かすため、保護者、地域人材や団体、企業等がボランティアとして学校をサポートする。	地域 教育 推進課	ボランティア数	継続	延べ71,472人	延べ52,235人	延べ56,952人	登下校の見守り・安全確保など「コロナ禍において実施可能な取組」に参加するボランティアが増えている。	
	ボランティア・市民活動センターの運営	ボランティアに関する相談を受け付け、活動先の紹介やボランティアの紹介等を行う。	区社協	相談件数	継続	109件	96件	89件		
	元気力アップサポーター事業	65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	70施設 480人	73施設 524人	75施設 530人	施設数・登録者数ともに微増したが、コロナ禍により活動数は少なかった。	
	認知症サポーター養成講座	企業や住民、行政からの依頼により、認知症の方への支援と理解を深めるための講座を開催する。	区社協	実施回数・参加人数	継続	開講なし	2回 31名	開講なし		
	ボランティア・市民活動育成事業（ボランティア養成講座）	ボランティア意識の醸成を図りながら、ボランティア・市民活動への参加を促し、活動の活性化につなげていくため、地域住民、企業等を対象に各種研修会や講座を開催する。	区社協	講座数・参加者数	増	・ボランティア出前講座～助けられ上手講座～ 7回 参加者155人 ・きっかけづくり講座～傾聴ボランティア～ 1回 参加者11人	・ボランティア出前講座 39回 参加者 909人 ・ボランティアきっかけづくり講座 5回 参加者 50人	・ボランティア出前講座 16回 参加者 224人 ・ボランティアサロン 15回 参加者 162人	例年実施していたボランティアきっかけづくり講座は中止し、コロナ禍で活動の場を失ったボランティアや施設を支援するためにボランティアサロンを開催した。	
	学生向けボランティア講座	夏休み期間を利用し、学生がボランティア活動に関心をもつ機会をつくり、今後のボランティア活動につなげる。	区社協	参加者数	継続	サマサリツグ ボランティア 東区参加人数 29人	サマサリツグ ボランティア 東区参加人数 27人	未実施	コロナ禍で中止。	
	ボランティアフェスティバル	ボランティアグループ、団体の活動内容を紹介する機会と情報交換の場をつくるとともに、ボランティア活動を知り、ボランティア活動のきっかけをつくることを目的に開催する。	区社協	参加団体	縮小・変更	未実施	未実施	未実施	コロナ禍で中止。	
	ボランティアの活動支援	ボランティア活動を行っている方々の情報交換の場を設け、活動における悩みの解消やさらなるボランティア活動の推進を図る。	区社協	実施回数・参加人数	継続	ボランティア登録 58団体 915人 個人 36人 交流会 1回 45人 ボランティア保険加入数 活動保険 1,041人 行事用保険 1,078件	ボランティア登録 64団体 1,499人 個人 34人 交流会 1回 49人 ボランティア保険加入数 活動保険 1,109人 行事用保険 1,180件	ボランティア登録 47団体 854人 個人 24人 ボランティア保険加入数 活動保険 807人 行事用保険 793件	コロナ禍でボランティア活動の場や地域福祉活動が少なくなり、登録者数・保険加入者数が減少した。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3) 地域で子育て支援ができる仕組みをつくりましょう										
	わいわいひろば 子育て支援事業	東区プラザ内「わいわいひろば」で、親子・地域・世代間交流イベントを実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	145回 6,012人	150回 6,192人	142回 2,976人	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、イベント参加者の人数制限を強化して実施した。	
	NPプログラム	0歳から5歳までの子どもをもつ親を対象に、それぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶ。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	3回 37人	3回 29人	2回 20人	コロナ禍において他者との交流機会が減少したため、情報収集の場として期待が高かった。	
	BPプログラム	初めて赤ちゃんを育てている母親を対象に、「子育て仲間づくり」、「0歳児の育児に必要な少し先を見越した基礎知識の学習」、「親子の絆づくり」を支援する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	8回 145組	5回 95組	8回 73組	コロナ禍において病院などによる産後ケアが縮小されたため、子育てに関する知識を得る機会として期待が高かった。	
	親子ふれあい広場 子育て事業	未就園児などを対象に、親子あそび指導者による親子遊びを行い、親子のふれあう機会・場をつくる。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	7~12カ月:12回 719人 1~3歳:4回 320人	7~12カ月:10回 655人 1~3歳:4回 265人	7~12カ月:11回 439人 1~3歳:4回 200人	実体験により親子のふれあい方を習得する良い機会を提供できている。	
	子育てイベントや講演会の開催	子育て世代を対象に、講演会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	2回 555人	1回1,000人	-	東区の子育て支援施設のPRを兼ねて開催してきたが、新型コロナウイルスの状況を踏まえて開催しなかった。各施設の認知度も上がっていることから、今後は各施設でのイベントとして進めて行く。	
	CAPプログラム	子どもが暴力から自らを守るための知識や技能を身につける人権教育を実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	4校 474人	4校 633人	1回 8人	緊急事態宣言を受けての休校により学校行事が適密化したため、小学校での開催を中止、大人向けCAPワークショップ「パパ・ママ交流カフェ」を開催した。	
	児童虐待防止研修会	子ども支援関係機関などを対象に、虐待防止を強化するための研修会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	8回 274人	3回 121人	3回 107人	虐待防止に向け、関係者のスキル向上が図られた。	
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月になるまでの全ての乳児と産婦を対象に訪問を実施し、保健指導や育児情報の提供を行い、地域における育児支援につなげる。	健康福祉課	訪問件数	継続	実人数:2,592人 延べ件数:3,025件	実人数:2,151人 延べ件数:2,501件	実人数:2,125人 延べ件数:2,442件	新型コロナウイルスの影響でR2.5.1~訪問再開	
	育児相談	育児全般又は育児に関する悩みや不安について個別相談を行うことにより、子育てを支援する。	健康福祉課	相談件数	継続	実人数 686人 延べ件数 1,480件	実人数 637人 延べ件数 1,316件	実人数 157人 延べ件数 310件	新型コロナウイルスの影響で4~7月は開催せず。8月から予約制で再開。	
	こども創作活動館	文化活動や遊びを通して、創造力豊かで健全な子どもの育成を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	35,347人	29,214人	27,072人	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため4月中旬~5月中旬は臨時休館した。	
	わいわいひろば	小さな子どもを対象とした、子育て支援を目的とした居場所として、親子遊びなどの催しのほか、子育て相談、短時間保育も行う。	健康福祉課	利用者数	継続	50,448人	44,841人	30,076人	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため4月中旬~5月中旬は臨時休館した。	
	い〜てらす	「遊ぶ」・「つながる」・「楽しむ」をコンセプトに、のびのびと遊べる場・交流と育児支援の提供の場・多世代が居心地よく楽しめる場を提供する。	健康福祉課	利用者数	継続	180,125人	153,424人	100,118人	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため4月中旬~5月中旬は臨時休館した。	
	地域子育て支援センター	保護者の子育てに対する不安・悩みの解消、仲間づくりの場の提供など、地域の子育て家庭への支援を行う。	保育課	施設数	継続	5か所(民間)	5か所(民間)	5か所(民間)	コロナ禍において子どもの居場所が限定的になるなか、感染症の予防対策に配慮しての運営に努めた。	
	放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校などに通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。	こども政策課	施設数	継続	公設:12か所 民間:5か所	公設:12か所 民間:5か所	公設:12か所 民間:5か所	引き続き狭あい化の施設の解消に努める	
	地域による放課後児童クラブの運営	地域で子育てを支援する環境を育むため、地域コミュニティ協議会が運営を行う。	こども政策課	施設数	増	2か所	2か所	2か所	今後も継続して実施していけるよう支援を行っていく	
	子育てサロン	子ども同士または親同士の交流や遊びをとおして子育ての情報交換、子育ての不安や悩みを話しやすい雰囲気のある場を提供する。	公民館	施設数	継続	5か所	5か所	4か所	参加者数が減っているため、周知の工夫をすることともに、今後利用状況に合った開設を検討する必要がある。	
	子育てサロン・サークル活動支援	子育て中の親子の不安・ストレス解消を図り、情報交換、仲間づくりの場の運営を支援するため助成を行う。	区社協	助成団体数	継続・廃止	子育てサロン 3か所 子育てサークル1か所	子育てサロン 7か所 子育てサークル1か所	子育てサロン 6か所		
	子育てボランティアの育成	子育て支援に携わるボランティアの養成を行う。	区社協	回数・参加者数	継続	開催なし	開催なし	開催なし		
	他団体と連携した子育て支援講座	子育て支援に携わるボランティアの養成・活動支援を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	開催なし	開催なし		

活動 目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す 方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
	子ども食堂ネットワーク事業	食を通して、子どもたちの生きる力を育むことを目的に、温かい食事と安心できる居場所を提供する「子ども食堂」の立ち上げ・運営支援を行う。	区社協	回数・参加団体	継続	子ども食堂連絡会議の開催 区内運営団体、及び新規立 上げ予定団体による情報交 換会。 1回 参加者 10名	子ども食堂連絡会議の開催 区内運営団体、及び新規立 上げ予定団体による情報交 換会。 1回 参加者 20名	子ども食堂連絡会議の開催 1回 参加者 11名		

基本目標2 みんなで集まれる機会・場づくり

◎誰もがいつでも気軽に立ち寄れる交流の場をつくり、地域で楽しく交流できる場の確保と活動参加の促進に努めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)気軽に立ち寄り、参加できる「場」をつくりましょう										
	学校開放事業	生涯スポーツ・生涯学習の振興を図るため、学校教育に支障がない範囲で市立学校の施設を開放する。	地域課	実施校数・利用者数	継続	21校 4,293人	21校 4,294人	21校 4,210人		
	コミュニティ活動設備整備補助金	地域活動に必要な高額設備（備品）の整備について費用の一部を補助する。	地域課	件数	継続	15件	13件	12件		
	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：12か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	月1タイプ：58か所(件) 月2タイプ：15か所(件) 社協助成のみ：1か所(件)	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：9か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	運営の相談、支援を随時実施している。	
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の茶の間担当者交流会 1回 70名	地域の茶の間担当者交流会 1回 90名	地域の茶の間担当者交流会 1回 74名		
(2)みんなが交流できる機会を増やしましょう										
	生きがい対応型通所事業（ふれあいティーラーム）	おおむね60歳以上のひとり暮らしの高齢者のために、外出の機会をつくり、健康で生き生きした生活を送れるように、仲間づくりや生きがいづくりを支援する。	健康福祉課	回数・利用者数	終了	191回 946人			2018年度で事業終了	
	老人憩の家及び老人憩のフロア	高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	101,762人	82,815人	46,589人	新型コロナウイルス感染症対策の影響で、4月から6月上旬まで全市休館となった。施設再開後も利用者数は昨年度平均で約3割減となっている。	
	東区区民ふれあい祭の開催	地域と行政が協働して開催する区民ふれあい祭を通じて、区の一体感の醸成を図る。	地域課	参加者数	検討中	12,000人	14,000人		2019年度で終了（集中改革プラン取り組み項目）	
	地域活動補助金【イベント等】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	13件	12件	5件		
	地域ふれあい事業への支援	地域住民による助けあい、支えあう地域づくりを推進するため、住民同士の交流を目的に行われる活動に対して助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域ふれあい事業】 116件 【福祉施設地域ふれあい事業】 18件	【地域ふれあい事業】 121件 【福祉施設地域ふれあい事業】 23件	【地域ふれあい事業】 10件 【福祉施設地域ふれあい事業】 4件	2019年度までは申請件数が年々増加傾向であったが、コロナ禍で事業中止が相次ぎ申請件数大幅減となった。	
	歳末たすけあい事業への支援	歳末時期に、地域住民や福祉関係者が協働で行う交流会事業に助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域歳末たすけあい事業】 80件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 9件	【地域歳末たすけあい事業】 84件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 11件	【地域歳末たすけあい事業】 15件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 0件	2019年度までは申請件数が年々増加傾向であったが、コロナ禍で事業中止が相次ぎ申請件数大幅減となった。	
	敬老祝会助成事業	9月～10月に実施する、高齢者（75歳以上）の長寿をお祝いし、地域交流を目的とした敬老祝会に対し一部助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	68件	65件	12件	新型コロナウイルスの影響により申請件数が大幅減となった。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域の学校や、いろいろな施設・団体と交流しましょう										
	「ぶちショップ東区」の実施	障がい者施設の自主製品の販売を通じた交流	健康福祉課	参加団体数	継続	10団体	11団体	11団体		
	思春期健康教育	思春期の子どもを対象に、「思春期の心と身体の変化」、「性」、「生命」、「性感染症」などをテーマに健康教育を実施する。	健康福祉課	実施校数・参加者数	継続	中学校：2校 275人 高校：1校 283人	中学校：2校 312人	小学校：1校 25人 中学校：2校 292人	小学校は令和2年度新規。	
	子どもふれあいスクール事業	小学校の施設を活用して、子どもたちに安心安全な遊び場を提供するとともに、異年齢交流や地域の大人との交流、地域の教育力の活性化を図る。	地域教育推進課	実施校数・参加者数	継続	12校 30,778人	12校 27,952人	9校 5,223人	新型コロナウイルス感染症対策の影響で、3校が活動を見合わせた。また、実施した学校も、8月以降で、密を避けた開催であったため、参加人数は大幅に減少した。	
	地域と学校ドリームプロジェクト支援事業	「地域と共に歩む学校づくり」の推進のため、学校が社会教育施設や地域と連携した特色ある取組の継続や新たな取組の開発に着手できるよう支援する。	地域教育推進課	実施校数	終了					
	大好きにいがた体験活動「地域と学校ウエルカム参観日」	「大好きにいがた体験事業」及び「地域学校協働活動」の推進、啓発、成果発表のため、各学校の取り組みを校区民、市民や教職員に公開し、成果や課題を共に考え、「学・社・民の融合による教育」の推進を図る。	地域教育推進課	実施校数	継続	2校	2校	2校	2020年度実施校：東山の下小学校、東新潟中学校 コロナ禍ではあったが、プログラムや人の動線を工夫したうえで活動を実施した。アンケートの結果、活動に対する肯定的な意見が両校とも90%を超えていた。	
	地域活動補助金【教育】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	5件	4件	1件		
	にいがた安心ささえ愛補助金<再掲>	地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進するため、地域が抱える福祉課題や住民課題の解決に向けた先導的な活動を行う団体などに対して助成を行う。	健康福祉課	件数	終了					
	福祉教育・体験学習への協力	区内の小中学校等の総合学習の支援を通し、障がい者、高齢者など地域に暮らすさまざまな状況にある人たちの理解を深める活動を行う。	区社協	実施校数・参加者数	継続	14校（26回）2,163人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	13校（24回）2,919人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	8校（16回）1,711人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	コロナ禍で減少。	
	ボランティア（個人・グループ）の交流事業の開催	ボランティア活動者、受入れ団体と情報交換し、ボランティア活動のさらなる推進を図る。	区社協	実施回数・参加者数	継続	東区ボランティア交流会 45人 東区元気力アップサポーター交流会 40人	ボランティア・サポーター情報交換会 49人	開催なし	コロナ禍で中止。	
	元気力アップサポーター受入施設への働きかけ	元気力アップサポーター受入れ施設の拡充と受入れ施設の情報交換会などを開催し、受入れ施設の支援を行う。	区社協	参加者数	継続	ボランティア受入施設担当者交流会11人	ボランティア受入施設担当者交流会14人	開催なし	コロナ禍で中止。	

基本目標3 安心・安全なまちづくり

◎地域全体で見守り、災害、犯罪、虐待などの緊急時に助けあえるまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)地域で見守りの輪を広げましょう										
	見守り訪問による高齢者の実態把握<再掲>	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	8,310件	7,991件	7,309件		
	認知症サポーター養成事業	認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを養成する。	健康福祉課	受講者数(累計)	継続	1,103人	899人	64人	例年に比べ、養成講座の開催数が減少した。周知に努め、開催数増加を目指す。	
	民生委員・児童委員の確保	民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努める民間の奉仕者で、厚生労働大臣の委嘱を受けて各地域に配置されている。	福祉総務課 健康福祉課	配置率(欠員数)	100%(0人)	97.0%(欠員6名)	96.4%(欠員8名)	95.9%(欠員9名)		
	民生委員協力員の育成	民生委員が担当地区を1人でカバーすることが困難な場合、民生委員協力員1名を配置し、活動の負担軽減や次代を担う民生委員候補者の育成につなげる。	福祉総務課	協力員数	増	7人	6人	7人		
	友愛訪問事業(見守り活動)	見守りが必要な一人暮らし高齢者(原則満75歳以上)等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域ボランティアが訪問し、安否確認と孤独解消を図る。	区社協	訪問世帯数・訪問員数	継続	1,524世帯 269人	1,592世帯 264人	1,369世帯 284人		
	おせち料理配食事業の実施	友愛訪問事業対象者にあたたかい気持ちで新年を迎えてもらうため、地域ボランティアがおせち料理を配食し、声かけを行う。	区社協	配食数	継続	1,622食	1,587食	1,459食		
	夕食宅配事業	在宅の高齢者などで食事づくりが困難な方々に栄養のバランスがとれた食事をお届けしながら、声かけや安否確認を行う。	区社協	利用世帯数・配食数(延べ)	終了					
	地区民生委員児童委員協議会との連携	毎月各地区の定例会に出席し、情報交換を密にし、連携した個別支援、地域支援を進める。	区社協	各地区定例会への参加率	継続	95%	95%	95%		
(2)避難行動要支援者への支援体制を確立しましょう										
	避難行動要支援者名簿登録制度	高齢者、障がい者、要介護者など災害時に自力で避難できない人などを対象に名簿を作成し、地域の自主防災組織などに配付し、災害時に地域で支援する体制を確立する。	健康福祉課 総務課	登録者数	継続	3,788人	4,415人	4,822人		
	自主防災組織	地域の住民の、「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という共助の精神に基づき、地域の防災活動の拠点として結成される。	総務課	組織数・組織率	継続	122団体 96.9%	124団体 97.3%	124団体 97.3%	着実に浸透してきている	
	協力自治会	災害時に支援協力をお願いできる自治会・町内会	総務課	団体数	継続	13団体	11団体	11団体	自主防災組織の新規結成により減少する	
	「きらりん救急情報キット」配付による緊急時・災害時の支援	高齢者や健康上不安を抱える方の安心・安全を守るため、かかりつけ医や緊急連絡先等の情報を保管するキットを配付し、緊急時・災害時に備える取り組みを進める。	区社協	登録者世帯・利用者数	継続	6,713人	6,951人	7,113人		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域で防災・防犯力を高めよう										
	自主防災組織結成・育成の支援（自主防災組織結成助成）	自主防災組織が結成され、結成の届出後1年以内に自主的な防災訓練を実施した場合に助成を行う。	総務課	件数	継続	0件	2件	0件	着実に浸透してきている	
	防災訓練の実施	自主防災組織が自主的に実施する防災訓練	総務課	件数	継続	99件	105件	24件	着実に浸透しているが、コロナ禍により減少した	
	防災訓練への支援（自主防災組織活動助成金）	自主防災組織が実施する防災訓練に必要な防災資機材の購入等経費の一部を助成する。	総務課	件数	継続	94件	99件	20件	着実に浸透してきている	
	防災講座の開催	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	40件	49件	18件	着実に浸透しているが、コロナ禍により減少した	
	避難所運営体制検討会の開催	平常時から、避難所ごとに『避難所運営マニュアル』の作成や運営方法などについて、あらかじめ共通認識を持つとともに、顔の見える協働体制づくりを行う。	総務課	開催回数	継続	1回	1回	1回	例年通り実施した	
	防犯ボランティアネットワーク事業	各地域において防犯パトロールなどの防犯活動に取り組んでいるボランティア団体等のネットワーク形成、地域同士の情報共有・連携、活動支援を図る。	総務課	登録団体数	継続	43団体	44団体	45団体	例年通り実施した	
	地域安全マップの作成	犯罪が起こりやすい危険な場所を地図にまとめ、子ども自身の危険予測や危険回避能力を高めるとともに、作製に関わる大人と地域の防犯力を高める。	総務課	実施団体数	継続	6団体	5団体	1団体	着実に浸透しているが、コロナ禍により減少した	
	防犯灯設置補助金	自治会・町内会などが自主的に設置管理する防犯灯を対象に設置費及び電気料の一部を補助する。	地域課	件数	継続	94件	78件	92件		
	地域活動補助金【防災・防犯】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	41件	11件	7件		
	災害ボランティア講座	東区で災害が発生した際に、区社協が中心となり様々な団体と連携して災害ボランティアセンターを運営するため、関係機関と災害ボランティア講座を開催する。	区社協	開催回数・参加者数	継続	災害ボランティア講座（職員向け） 参加者 12人	災害ボランティアセンター研修（支会役員向け） 参加者 44人	災害ボランティアセンター研修（支会役員向け） 参加者 44人		

基本目標4 健康で住みやすいまちづくり

◎いつまでも元気で暮らしていくことができるよう、健康づくり・生きがいつくりに取り組むとともに、誰にもやさしい生活環境づくりを推進します。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	委員意見・コメント等
(1)心身ともに健康で生きがいを持った生活を送りましょう									
各種がん検診		疾病の早期発見・治療のため、各種がん検診を実施する。	健康福祉課	受診率	継続	胃：19.9%、乳16.1% 大腸23.3%、子宮18.5% 肺：11.1%、前立腺：25.8%	胃：32.4%、乳19.5% 大腸：28.5%、子宮23.8% 肺：13.6%	(集計中)	※2019年度から保健所作成の各種がん検診年報に統一（毎年10月頃作成）
特定健康診査		メタボリックシンドロームの該当者や予備群をいち早く見つけられる健診を行う。	健康福祉課	受診率	継続	33.8%	30.01% (3月5日報告分)	25.74% (3月5日報告分)	
健康相談		保健師、栄養士等により、健康に関する個別相談に応じ、必要な相談・助言を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	24回(3会場202人)	24回(3会場192人)	21回(3会場72人)	
特定保健指導		特定健康診査でメタボリックシンドロームの該当者やその予備群と判定された人などに、生活習慣を改善するための指導を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	30回(3会場)95名	28回(3会場)74名	25回(3会場)87人	
依頼健康教育		健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	39回 679人	41回 653人	20回 196人	
栄養・運動・休養をテーマにした講習会・講演会の開催		健康寿命の延伸を目的に、正しい健康知識を普及啓発するための講演会やコミュニティ協議会などの地域単位でのウォーキング等の運動体験講座を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	講演会 3回 276人 ウォーキング・介護予防自主グループ支援13回264人	講演会 3回 464人 ウォーキング・介護予防自主グループ支援7回152人	【講習会・講演会】 5回 155人 【自主G支援】 16回 167人	
介護予防教室や認知症予防教室の開催		介護などが必要となるおそれのある人に対し、運動器・口腔機能向上、栄養改善の複合型教室や脳活性化のための健康教室を開催する。	健康福祉課	回数・延べ参加者数	継続	【複合型教室】 276回 2436人	【複合型教室】 201回 1904人	34回 441人	
食生活改善推進委員の育成		「食生活改善推進委員養成講座(健康栄養セミナー)」の修了生が、生涯における健康づくり活動を、食を通して推進する。	健康福祉課	推進委員数	継続	44人	49人	43人	
運動普及推進委員の育成		「運動ボランティア養成講座」の修了生が、健康づくりのための運動を広めるために活動する。	健康福祉課	推進委員数	継続	38人	33人	25人	
生きがい対応型通所事業(ふれあいティールーム)〈再掲〉		おおむね60歳以上のひとり暮らしの高齢者のために、外出の機会をつくり、健康で生き生きとした生活を送れるように、仲間づくりや生きがいつくりを支援する。	健康福祉課	回数・参加者数	終了	191回 946名			
老人クラブ		高齢者が自主的に集まり、相互の親睦・教養の向上、健康の増進、地域社会との交流を図る。	健康福祉課	クラブ数・会員数	継続	48クラブ 2,292人	46クラブ 2,127人	42クラブ 1,829人	新型コロナウイルスの影響により、活動休止や解散するクラブが増加した。
「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援〈再掲〉		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：12か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	月1タイプ：58か所(件) 月2タイプ：15か所(件) 社協助成のみ：1か所(件)	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：9か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	運営の相談、支援を随時実施している。
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の茶の間担当者交流会 1回 70名	地域の茶の間担当者交流会 1回 90名	地域の茶の間担当者交流会 1回 74名	
元氣力アップサポーター事業〈再掲〉		65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	70施設 480人	73施設 524人	開催なし	コロナ禍で中止。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	委員意見・コメント等
(2)安全で快適な生活環境をつくりましょう									
	障がい者住宅リフォーム助成	重度の身体障がい者が自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	11件	8件	4件	
	高齢者住宅リフォーム助成	身体機能の低下した65歳以上のお年寄りが自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	24件	27件	32件	
	介護予防リフォーム助成	高齢者のけがを防ぎ、介護を必要としない生活を続けられるよう、居宅を改修をする際の費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	終了				
	ごみのない美しい東区まちづくり事業	まちの美化と環境保全意識の一層の向上を図り、毎月最終日曜日をゴミゼロの日として、身近なところを清掃するとともに、コミュニティ協議会単位で区内一斉清掃を実施する。	区民生活課	参加人数（実施か所）	継続	5,686人（113か所）	6,754人（138か所）	5,228人（97か所）	2020年度はコロナの影響により、東区12コミ協のうち、1コミ協が清掃を中止。
	地域活動補助金【環境美化】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	5件	4件	3件	
	校区交通安全推進協議会育成補助金	校区交通安全推進協議会が行う交通安全意識の高揚及び交通事故防止活動に係る事業費の一部を補助する。	総務課	件数	継続	12件	12件	12件	例年通り実施した
	高齢者や障がいのある人などの外出、移動のためのサービスの検討	高齢者や障がいのある方の外出を支援するため、車いすの貸し出しを行う。	区社協	延べ貸出件数	継続	106回	94回	56回	コロナ禍により減少。
	障がいを理解するための取り組み	障がい者の社会参加、活躍の場づくりを支援し、障がい者への理解を図る。	区社協	件数	継続	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 26回	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 24回	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 16回	

基本目標5 情報の提供と相談支援体制の充実

◎必要な人に必要な情報をわかりやすく提供するとともに、誰もが安心して相談や支援を受けることができる体制づくりに取り組みます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 必要な人に必要な情報が伝わる仕組みをつくりましょう										
	区だより「わいわい東区」、ホームページによる情報提供	市民生活に役立つお知らせや地域の話など身近な情報を東区だよりや区のホームページ、スペシャルサイトなどで発信する。	地域課	発行回数 ホームページ枚数	継続	年24回 46,000部 532,203回	年24回 46,000部 359,883回	年24回 46,000部 344,306回		
	区だよりなどの点字版・音声版での提供	目の不自由な人で希望者を対象に、市報にいがた・東区だよりの点字版または記事を録音した音声版を郵送する。	地域課	発行回数	継続	年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)		
	子育てガイドブック「ままっぶ」の発行	東区の子育て中の保護者を編集委員とし、子育てに関する情報冊子を発行する。	健康福祉課	発行部数	継続	6,000部	6,000部	6,000部	手に取ってすぐ見れる紙ベース冊子は子育て世代に好評である。	
	依頼健康教育<再掲>	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	39回 679人	41回 653人	20回 196人		
	防災講座の開催<再掲>	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	40件	49件	18件	着実に浸透しているが、コロナ禍により減少した	
	地域活動補助金【広報紙発行】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	7件	5件	3件		
	機関紙「東区社協だより」による情報発信	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報を広く周知する。	区社協	発行回数	継続	年1回	年2回	年2回		
	区社協パンフレットの配付	東区社会福祉協議会の認知度、事業への理解を高め、必要な方へ必要な支援が結びつくよう、広くパンフレットを配布する。	区社協	配布箇所	継続	各事業、研修会、イベント等で配布	各事業、研修会、イベント等で配布	窓口等で配布		
	ホームページによる情報提供	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報をホームページを活用し、タイムリーに発信する。	区社協	ホームページ配信アップ数	増	5件	5件	9件	ホームページを活用したPRの充実に努める。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	2018年度	2019年度	2020年度	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2)身近な地域での相談支援体制をつくりましょう										
	地域包括支援センターの運営・周知	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活することができるよう、地域にある様々な資源（保健・医療・福祉）などを活用し、多面的な支援を行う。	健康福祉課	相談件数	継続	31,871件	34,415件	36,080件		
	障がい者基幹相談支援センター東の運営・周知	障がい者（児）が安心して地域で暮らせるよう、障がい者（児）やその家族からの相談を聞き、地域での生活を支援し、自立と社会参加を応援する。	障がい福祉課	相談件数	継続	6,982件	7,112件	7,156件		
	成年後見制度の周知・利用支援	認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない人を保護し支援する。成年後見制度を利用する場合に必要な費用負担が困難な人に費用の一部を助成する。	健康福祉課	利用者数	継続	障がい：市長申立3件 助成利用4件 高齢：市長申立8件 助成利用28件	障がい：市長申立1件 助成利用6件 高齢：市長申立12件 助成利用60件	障がい：市長申立11件 助成利用11件 高齢：市長申立19件 助成利用74件		
	東区地域自立支援協議会の開催	東区における障がい福祉に係る地域課題等を協議する。	健康福祉課	開催回数	継続	4回	4回	4回		
	生活保護受給者の自立に向けた就労支援プログラム	ワークポート新潟と連携し、経済的援助を必要とする人の自立支援に向けた就労を支援する。	保護課	参加率（H27～）	30%以上（R3～）	27.4%	30.0%	21.6%	コロナ禍の影響で受給者のプログラム参加機会が減少した。感染状況を踏まえつつも、就労支援相談へ繋げる件数をいかに伸ばしていくかが課題である。	
	学習習慣支援プログラム（低所得世帯の中学生勉強会）	社会福祉協議会と連携し、低所得世帯の中学生の学力向上を支援する。	保護課	参加者数	継続（R3から）	44人	42人	40人	コロナ禍で年度当初より勉強会開催及び募集ができなかったことによるもの。	
	日常生活自立支援事業の実施	認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方の福祉サービス利用手続き、金銭管理、書類の預かり支援を通して、地域生活を継続できるようサポートする。	区社協	利用者数・延べ支援回数	継続	認知症高齢者 58人 知的障がい者 22人 精神障がい者 40人 総支援回数 1,494回	認知症高齢者 52人 知的障がい者 23人 精神障がい者 36人 総支援回数1,724回	認知症高齢者 37人 知的障がい者 21人 精神障がい者 36人 総支援回数1,423回		
	生活福祉資金の相談・貸付	低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などで金融機関や他制度からの借入れが困難な世帯に貸付相談を行う。	区社協	新規貸付・相談件数	継続	相談 204件 貸付 24件	相談 114件 貸付 23件	相談 1,794件 貸付 681件	コロナ特例貸付の相談が急増した。	
	関係機関・福祉専門職とのネットワークづくり	多問題世帯への支援など専門職が連携してよりよい支援ができるようネットワークづくりを進める。	区社協	実施内容	継続	東区地域福祉ネットワーク会議の開催 地域住民による支え合い活動団体と福祉専門職との情報交換 参加者56人	東区地域福祉ネットワーク会議の開催 地域住民による支え合い活動団体と福祉専門職との情報交換 参加者47人	開催なし	コロナ禍で中止。	
	CSWによる情報の提供と相談支援	地域住民や専門職との連携をすすめる、個別課題、地域課題の解決に向けた取り組みを進める。	区社協	相談件数	継続	451件	470件	1,140件	コロナ禍で家計の悪化した世帯からの相談が急増した。	
	歳末たすけあいフードボックス事業	生活困窮世帯やひとり親世帯等を対象に、支援の途切れがちな年末年始向けの食糧支援を実施する。	区社協	配布世帯数	継続	-	-	350世帯	コロナ禍で家計の悪化した世帯や恒常的に困窮している世帯に食糧セットの配布ができた。	